

## 1) 調査概要

- 誘導区域や誘導施設の指定に向けて、市民の生活行動や現状の居住環境の評価、身近に必要な生活利便機能等に関する市民のニーズを把握

## 調査対象・調査対象等

調査区域	つくば市全域
調査対象	「層化二段無作為抽出法」市内を8地区（41ページ参照）に区分に、それぞれを層とした。 標本数の配分は、各層における20歳以上の人口（平成28年1月1日現在）により、地区別回収状況（41ページ）に示すように、約2,000の標本数を世代に偏りがないように配分
調査期間	平成28年2月8日～平成28年2月26日
調査方法	郵送配布・郵送回収
配布数	1,992通
回収数	621通
回収率	約31.2%

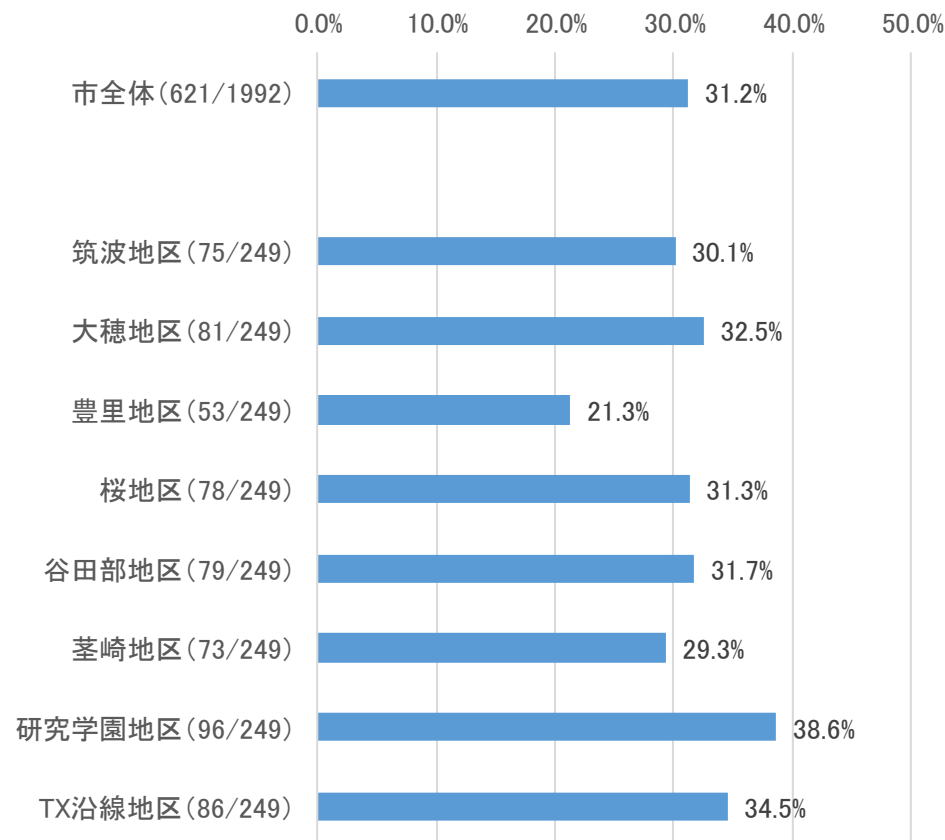
## 調査項目

<b>1. 【回答者属性】あなた自身について</b>
問1 性別
問2 年齢（世代）
問3 職業
問4 家族構成
問5 自宅住所
問6 勤務地
問7 居住暦
問8 自宅形態
<b>2. 【生活行動】あなたの日常行動について</b>
問9 目的別の外出頻度、行き先、交通手段
問10 一番良く訪れる拠点的な地区
問11 問10を訪れる頻度・目的
問12 問10を訪れるときに利用する交通手段
<b>3. 【居住意向】現在、お住まいの地域の住みやすさについて</b>
問13 住まいの地域の満足度
問14 定住意向
問15 住み続けたいと思う理由
問16 引っ越したいと思う理由
<b>4. 【まちづくり】コンパクトなまちづくりについて</b>
問17 人口減少・高齢化の進行による影響
問18 つくば市における今後のまちづくりの進め方
問19 コンパクトな都市づくりへの考え方（中心市街地や拠点地区への住み替え）
問20 中心市街地や拠点地区への住み替えのための制度
問21 徒歩圏に必要な施設、今後重要になる施設
問22 自由記入欄

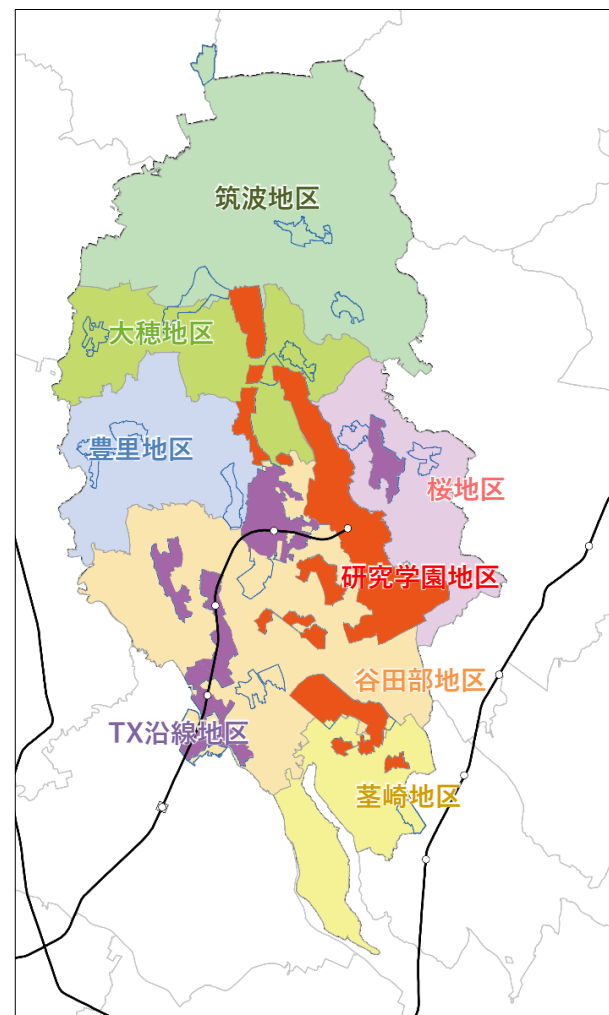
## 2) 回収率

- 市全体の回収率は31.2%
- 回収率が最も高い地区は、研究学園地区で38.6%、次いでTX沿線地区が34.5%、一方、回収率が低い地区は、豊里地区で21.3%

地区別の回収率



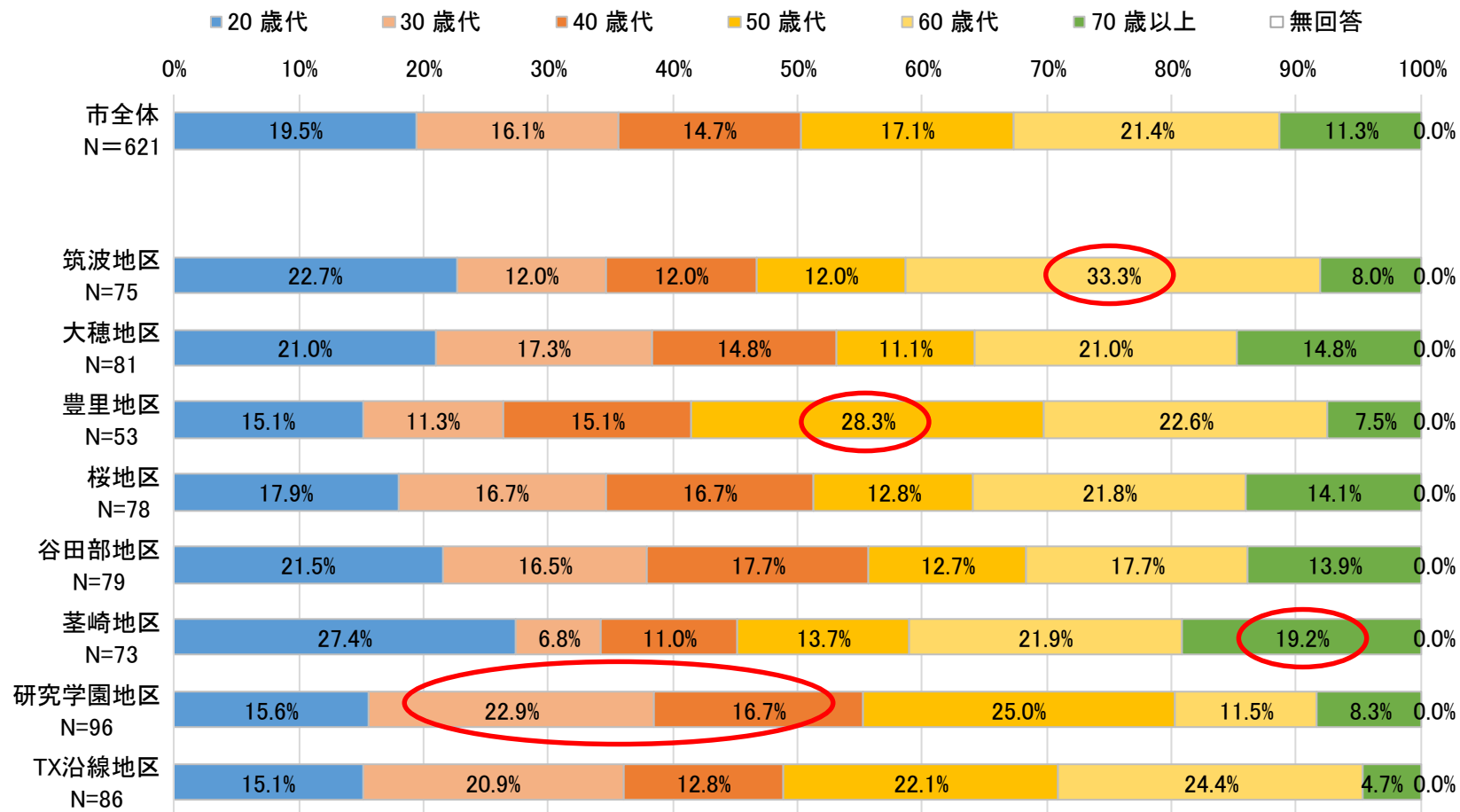
地区区分図



## 3) 年齢構成

- ・市全体では各世代のバランスよく回答が得られている
- ・「70歳以上」の回答が多い地区は荃崎地区で19.2%、「60歳代」の回答が多いのは筑波地区で33.3%
- ・「50歳代」の回答が多い地区は豊里地区28.3%
- ・「40歳代」と「30歳代」の回答が多い地区は研究学園地区で、あわせて39.6%

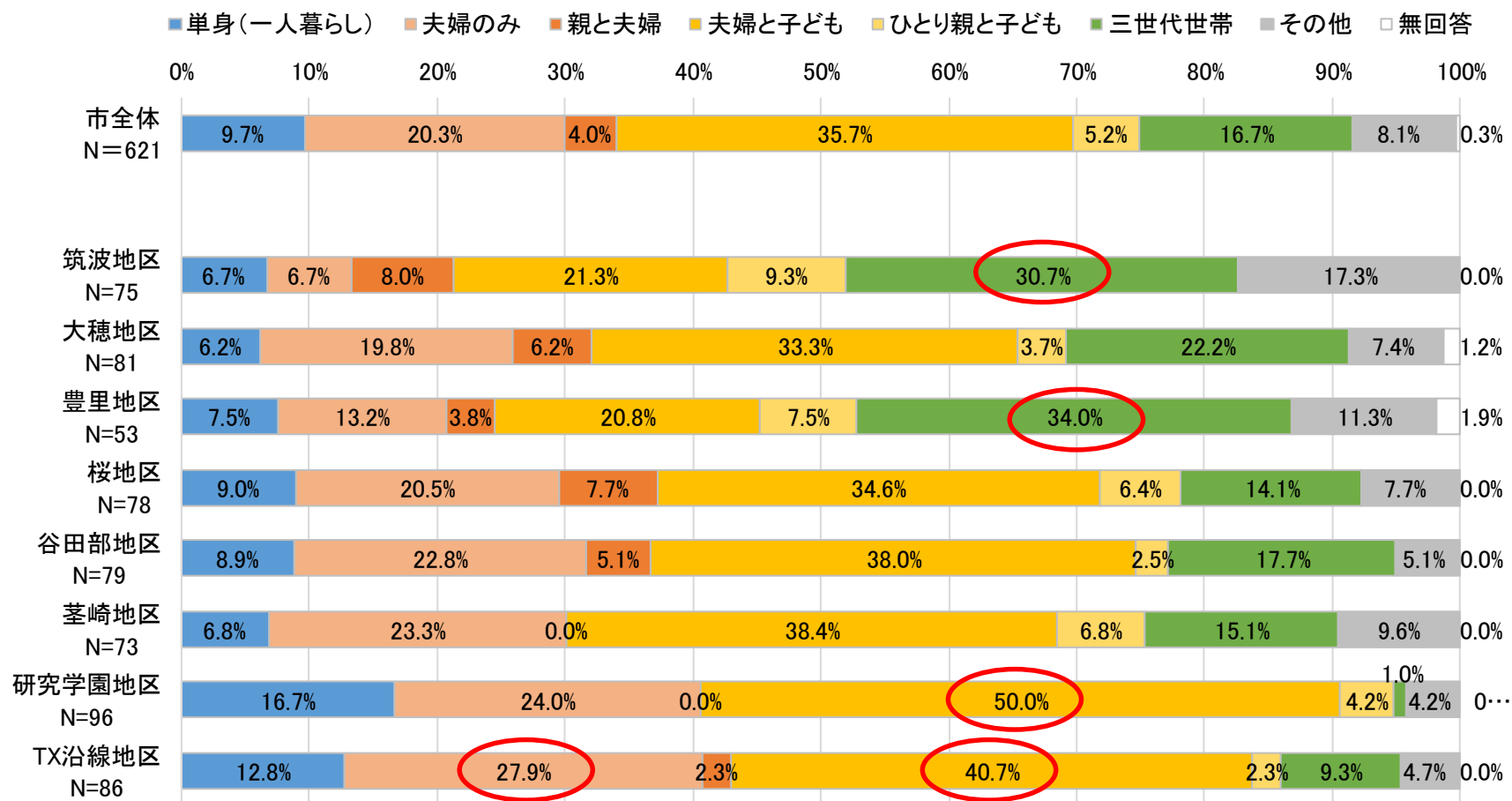
地区別の年齢構成



## 4) 家族構成

- ・市全体では「夫婦と子ども」の割合が35.7%
- ・「三世代世帯」の割合が多い地区は、豊里地区で34.0%、次いで筑波地区で30.7%
- ・「夫婦と子ども」の割合が多い地区は、研究学園地区で50.0%、TX沿線地区で40.7%
- ・「夫婦のみ」の割合が多い地区は、TX沿線地区で27.9%

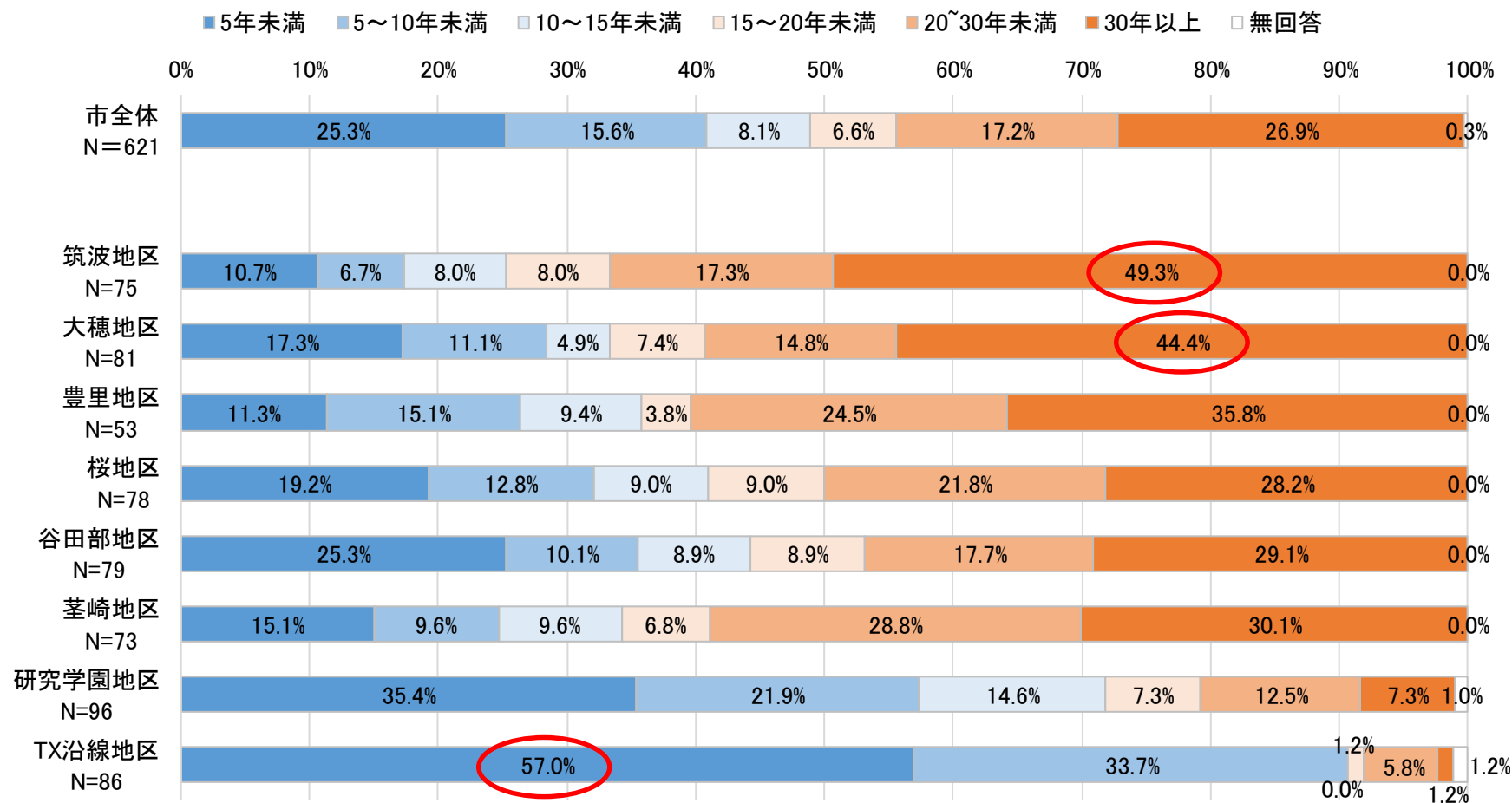
地区別の家族構成



## 5) 居住暦

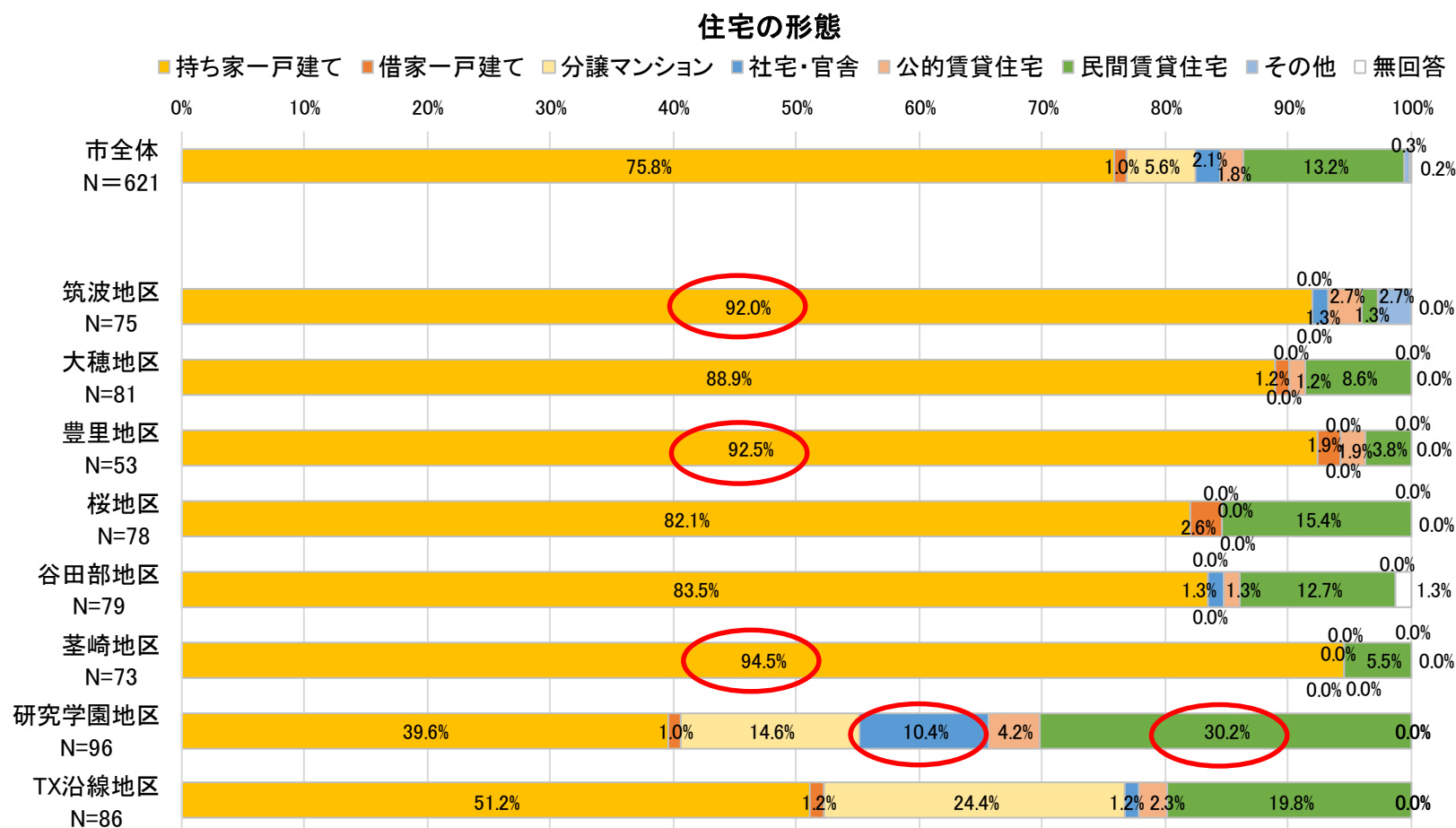
- 市全体では「30年以上」が26.9%、次いで「5年未満」が25.3%
- 「30年以上」が多い地区は、筑波地区で49.3%、次いで大穂地区で44.4%
- 「5年未満」が多い地区は、TX沿線地区で57.0%

地区別の居住暦



## 6) 住宅形態

- ・市全体では「持ち家一戸建て」の割合が75.8%、次いで「民間賃貸住宅」が13.2%
- ・「持ち家一戸建て」の割合が最も高い地区は、荃崎地区で94.5%、次いで豊里地区で92.5%、筑波地区で92.0%
- ・「民間賃貸住宅」の割合が最も高い地区は、研究学園地区で30.2%
- ・「社宅・官舎」の割合が最も高い地区は、研究学園地区で10.4%
- ・「分譲マンション」の割合が最も高い地区は、TX沿線地区で24.4%



## 7) 住みやすさの満足度

- 居住地域における生活行動の満足度を5段階評価

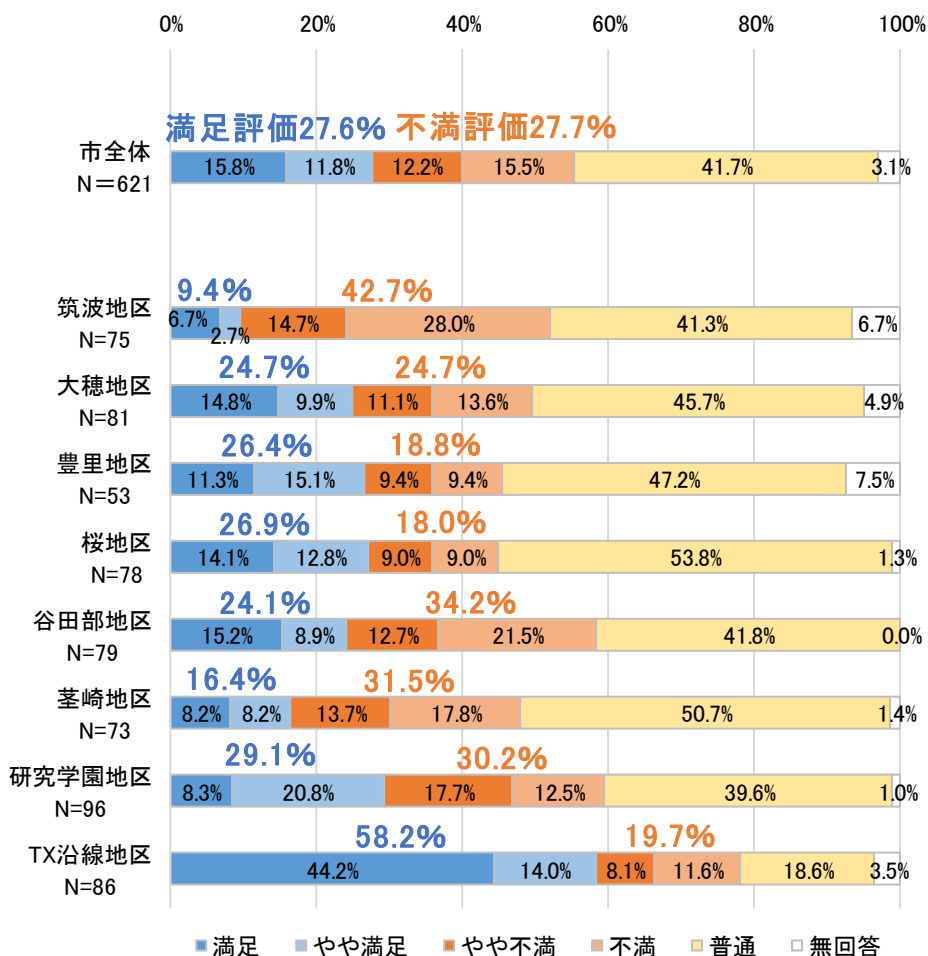
問 13：現在、お住まいの地域で、以下の1)～13)の項目を行う際の満足度を教えてください。(項目毎に、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
1) 行政サービス(市役所、窓口センター)の利用	1	2	3	4	5
2) 福祉施設(デイサービス等)の利用	1	2	3	4	5
3) 医療機関(病院、診療所等)の受診	1	2	3	4	5
4) 交流施設(公民館等)の利用	1	2	3	4	5
5) 食料品等の買い物	1	2	3	4	5
6) 生活用品(洗剤、衛生用品等)の買い物	1	2	3	4	5
7) 買回り品(洋服、家電、書籍等)の買い物	1	2	3	4	5
8) 子育て支援施設や子供の遊び場の利用	1	2	3	4	5
9) 健康、スポーツ施設(体育館・ジム、公園等)の利用	1	2	3	4	5
10) 飲食店舗(レストラン、喫茶店、カフェ)の利用	1	2	3	4	5
11) 金融機関(銀行、郵便局等)の利用	1	2	3	4	5
12) 娯楽施設(映画館、ボーリング場等)の利用	1	2	3	4	5
13) 文化施設(図書館、ホール、美術館等)の利用	1	2	3	4	5

## 7) 住みやすさの満足度

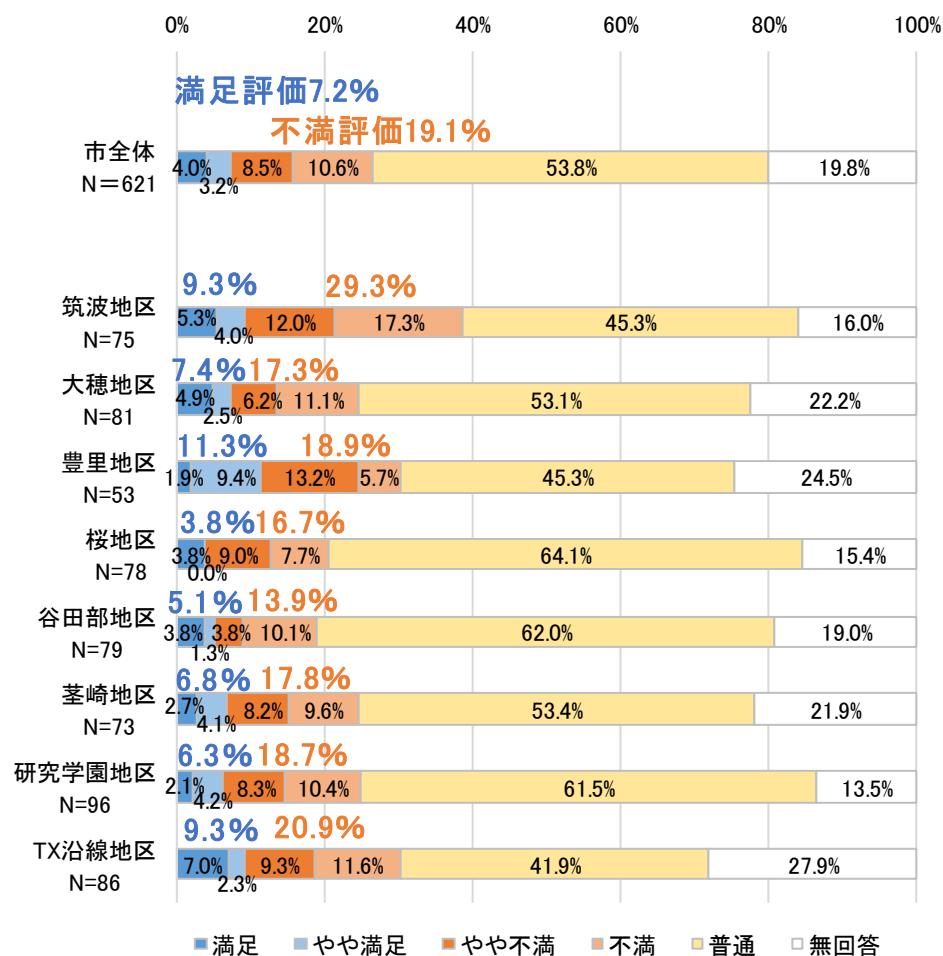
## 行政サービス（市役所、窓口センター）の利用

- 「満足」「やや満足」を含む「満足評価」は市全体で27.6%に対し、TX沿線地区で58.2%と非常に高い
- 「やや不満」「不満」の「不満評価」は市全体で27.7%に対し、筑波地区で42.7%と最も高く、次いで谷田部地区で34.2%



## 福祉施設（デイサービス等）の利用

- 「普通」の割合が市全体で53.8%、全ての地区で40%以上
- 「不満評価」は市全体で19.1%、筑波地区で29.3%と最も高い

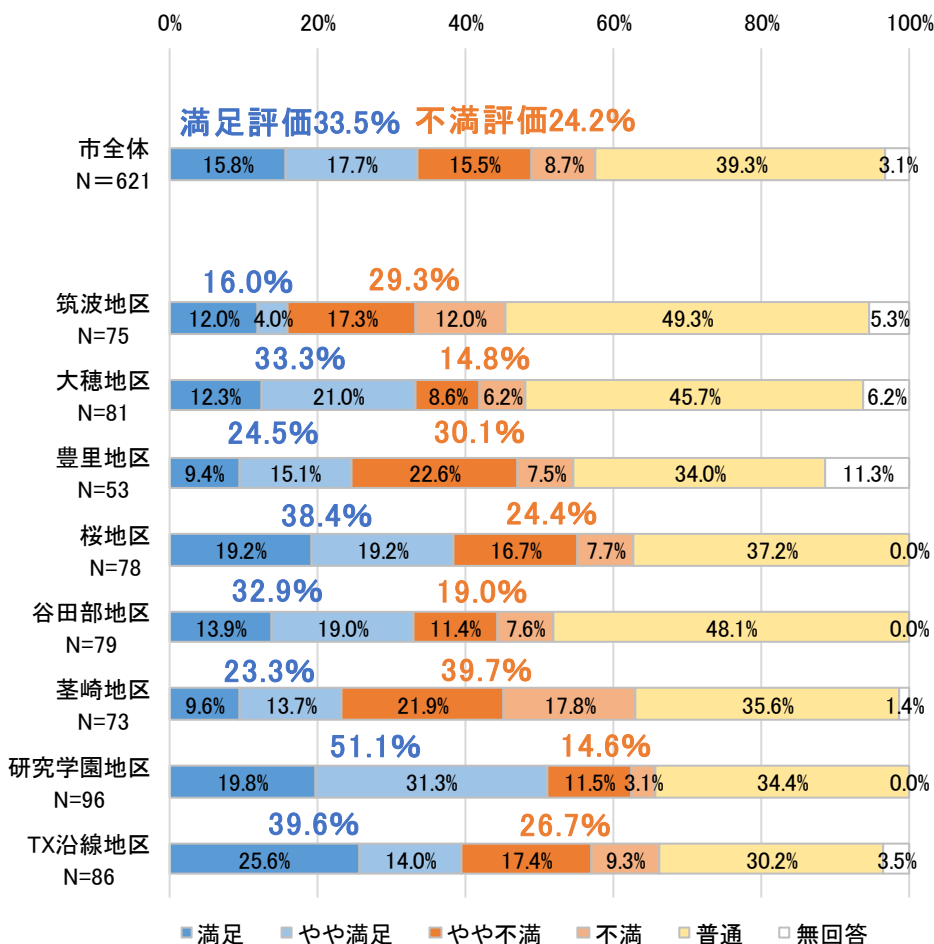




## 7) 住みやすさの満足度

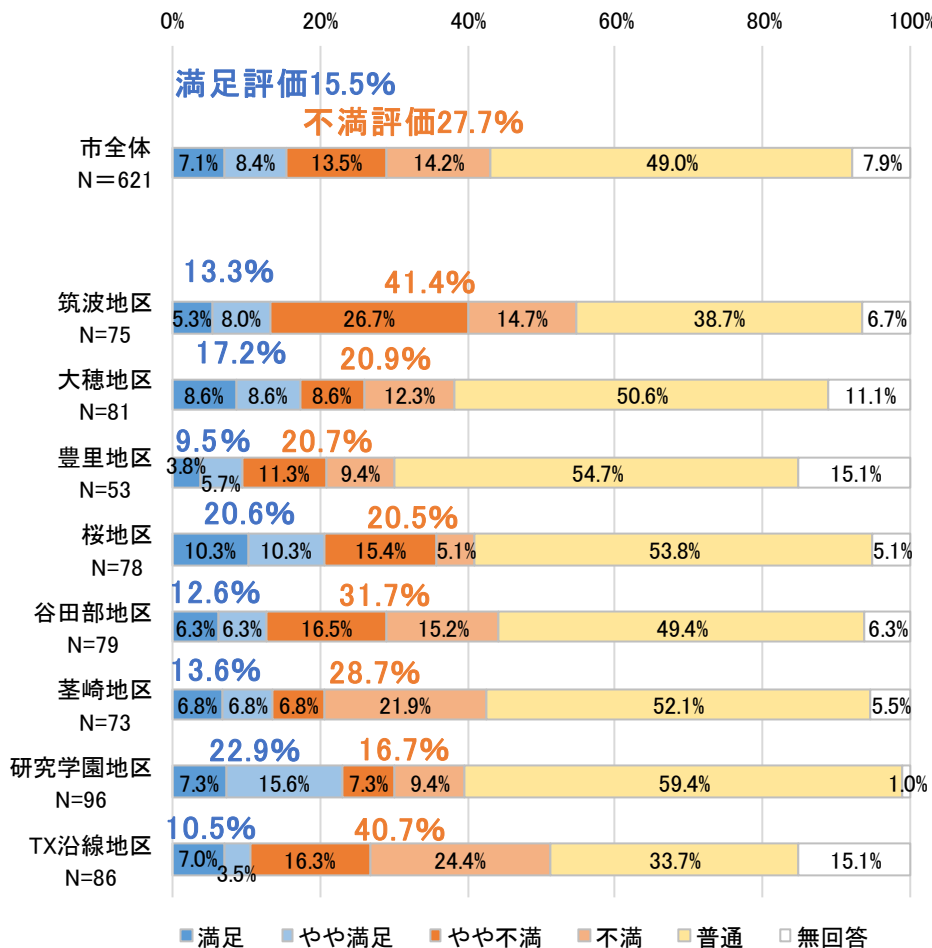
## 医療機関（病院、診療所等）の受診

- 「満足評価」は市全体で33.5%、研究学園地区で51.1%と最も高く、次いでTX沿線地区で39.6%
- 「不満評価」は市全体で24.2%、荃崎地区で39.7%と最も高く、次いで豊里地区が30.1%



## 交流施設（公民館等）の利用

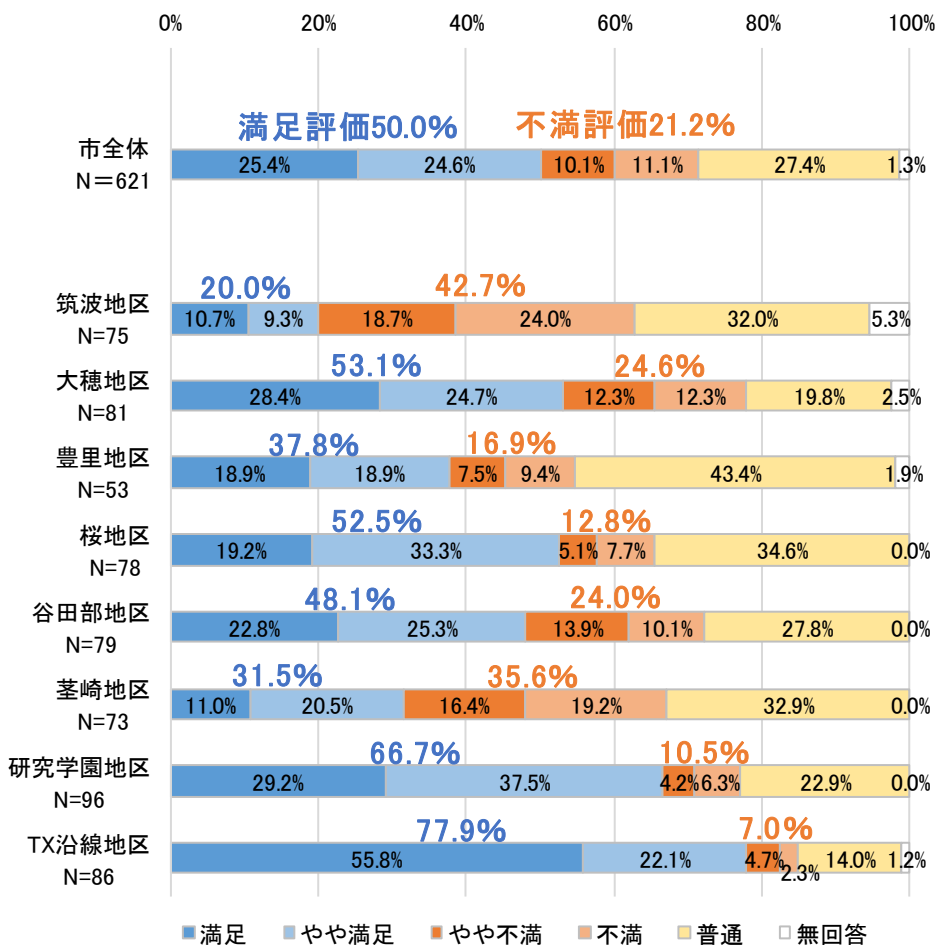
- 「満足評価」は市全体で15.5%、研究学園地区で22.9%と最も高く、次いで桜地区で20.6%
- 「不満評価」は市全体で27.7%、筑波地区で41.4%と最も高く、次いでTX沿線地区で40.7%



## 7) 住みやすさの満足度

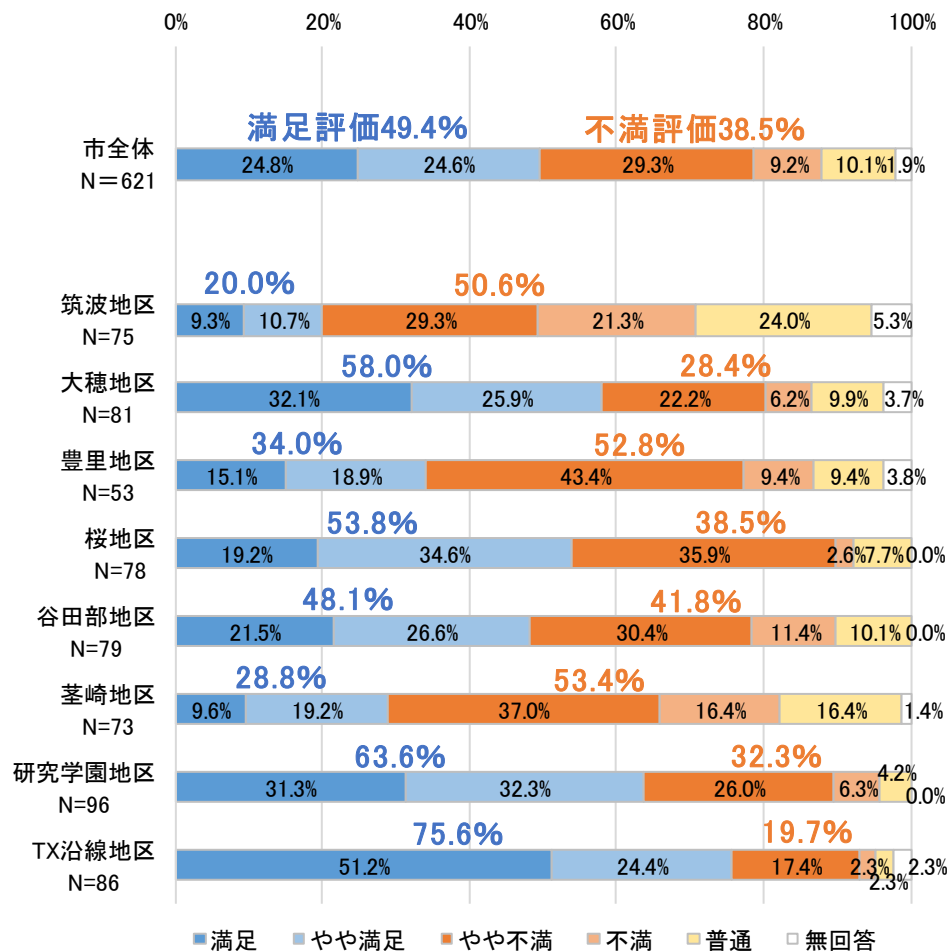
## 食料品等の買い物

- 「満足評価」は市全体で50.0%、TX沿線地区で77.9%と最も高く、次いで研究学園地区で66.7%
- 「不満評価」は市全体で21.2%、筑波地区で42.7%と最も高く、次いで荃崎地区で35.6%



## 生活用品（洗剤、衛生用品等）の買い物

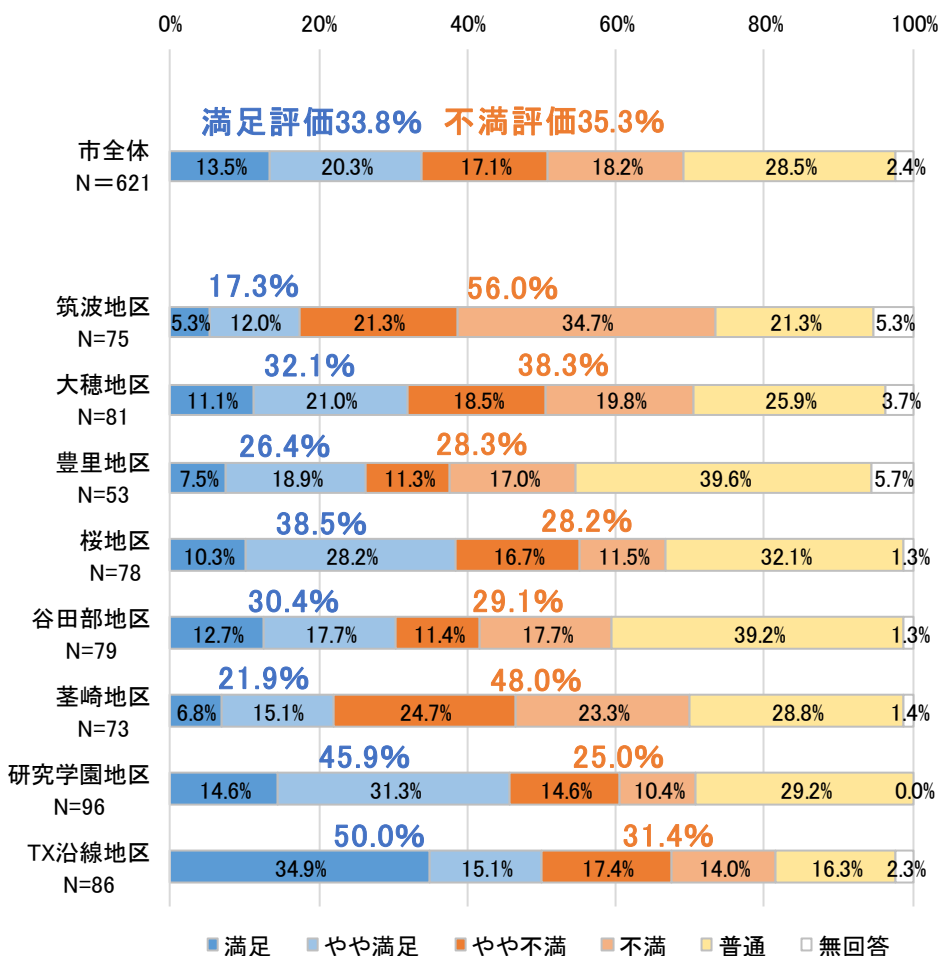
- 「満足評価」は市全体で49.4%、TX沿線地区で75.6%と最も高く、次いで研究学園地区で63.6%
- 「不満評価」は市全体で38.5%、荃崎地区が53.4%と最も高く、次いで豊里地区で52.8%



## 7) 住みやすさの満足度

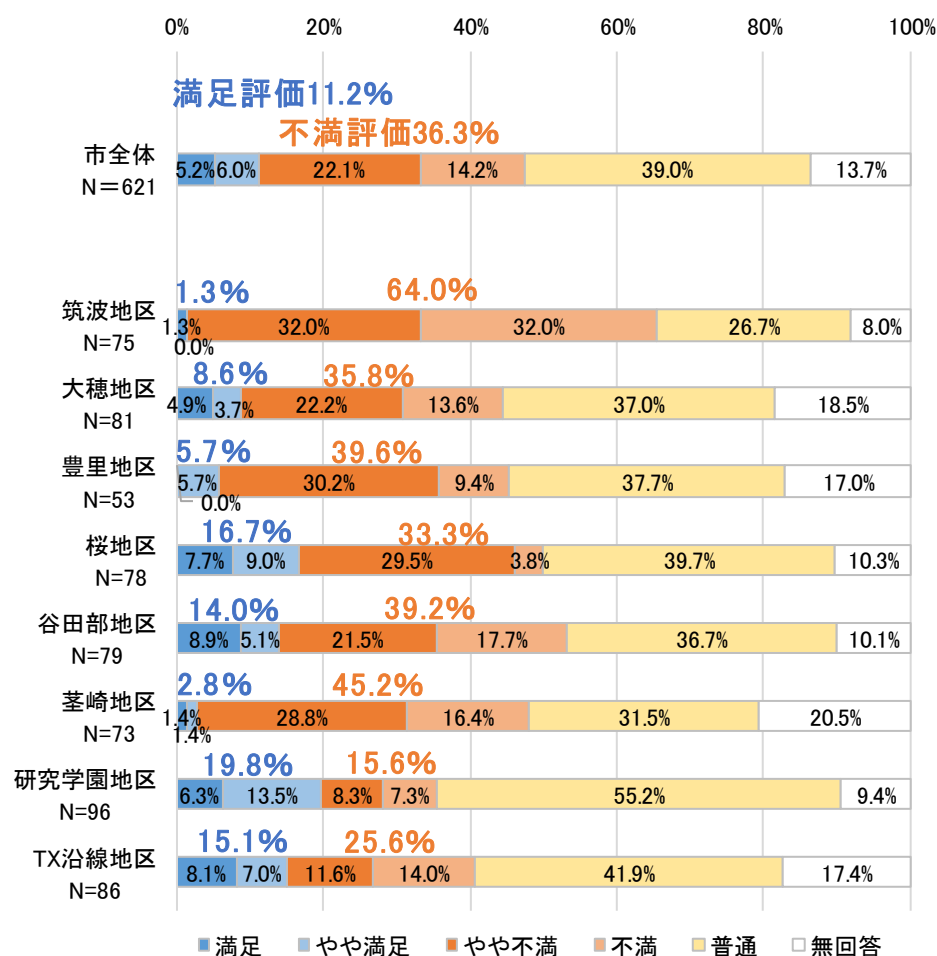
## 買回り品（洋服、家電、書籍等）の買い物

- 「満足評価」は市全体で33.8%、TX沿線地区で50.0%と最も高く、次いで研究学園地区で45.9%
- 「不満評価」は市全体で35.3%、筑波地区で56.0%と最も高く、次いで荃崎地区で48.0%



## 子育て支援施設や子供の遊び場の利用

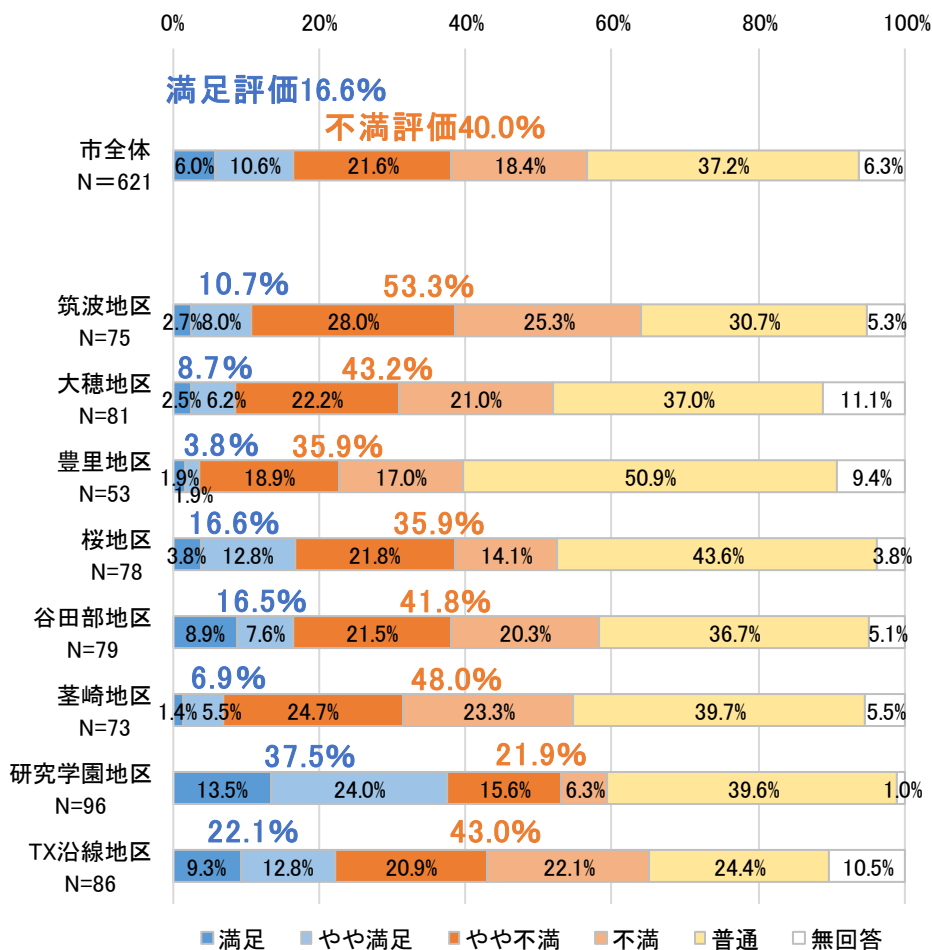
- 「満足評価」は市全体で11.2%、研究学園地区で19.8%と最も高く、次いで桜地区で16.7%
- 「不満評価」は市全体で36.3%、筑波地区で64.0%と最も高く、次いで荃崎地区で45.2%



## 7) 住みやすさの満足度

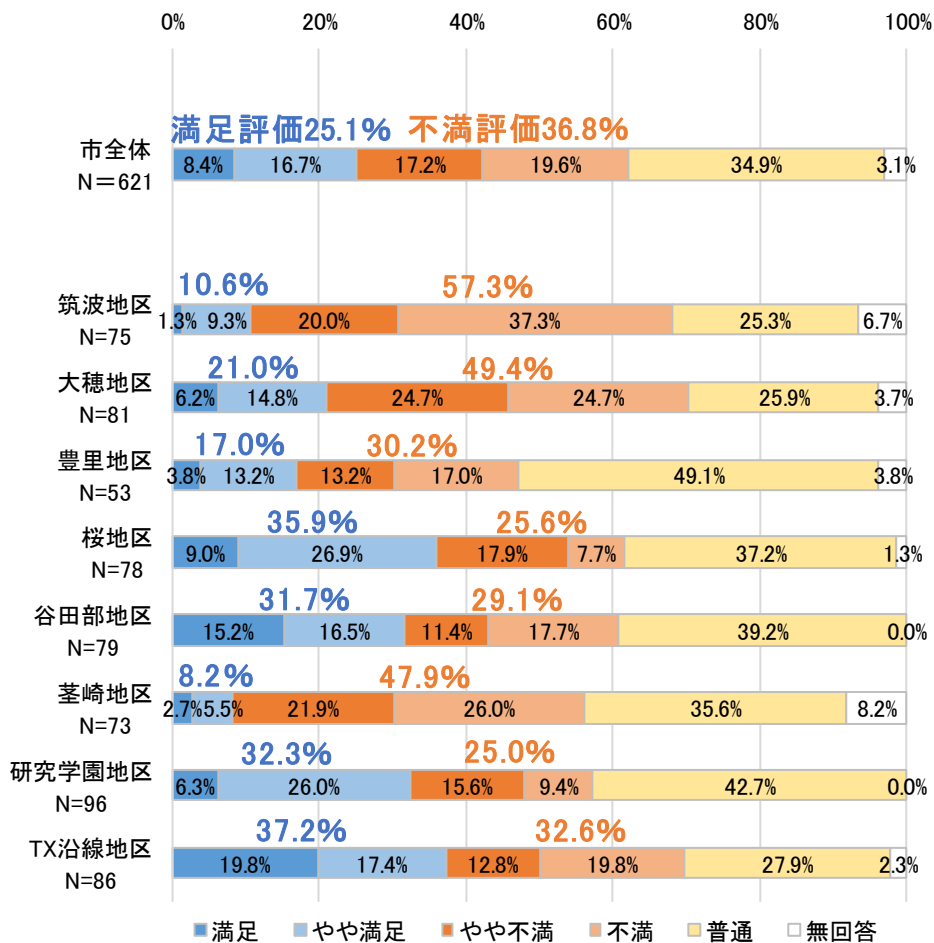
## 健康、スポーツ施設（体育館・ジム、公園等）の利用

- 「満足評価」は市全体で16.6%、研究学園地区で37.5%と最も高く、次いでTX沿線地区で22.1%
- 「不満評価」は市全体で40.0%、筑波地区で53.3%と最も高く、次いで荃崎地区で48.0%



## 飲食店舗（レストラン、喫茶店、カフェ）の利用

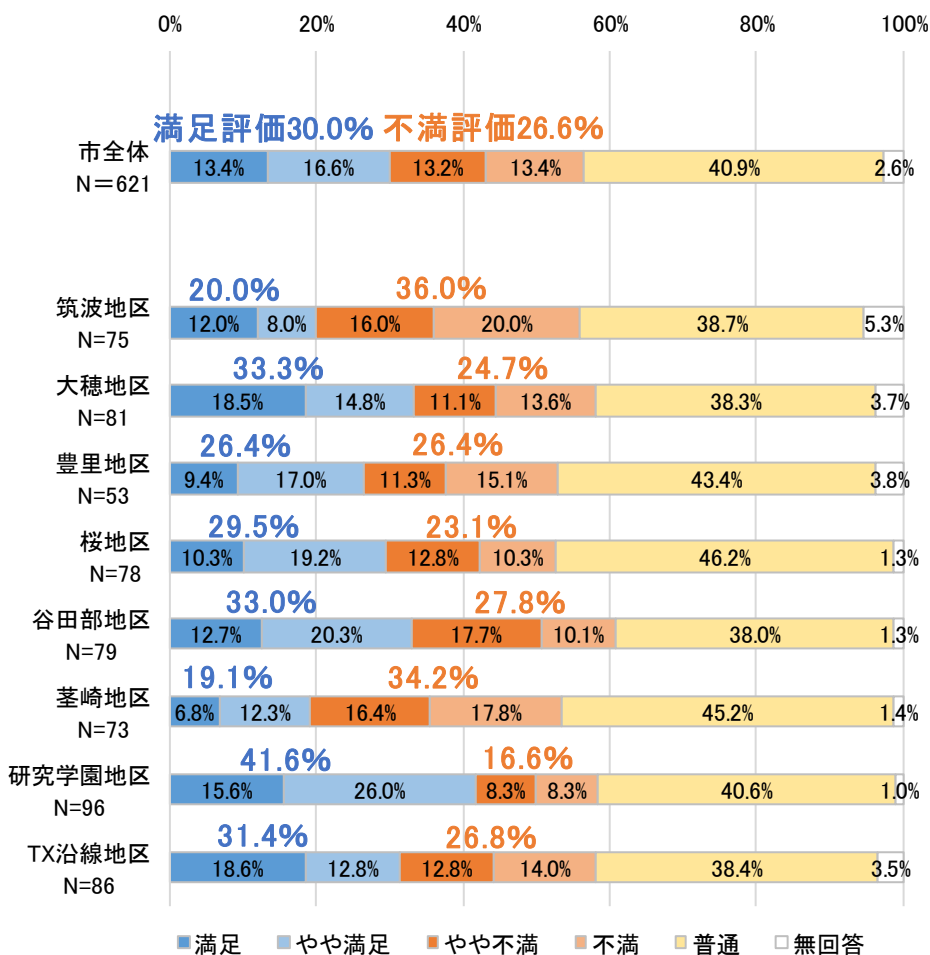
- 「満足評価」は市全体で25.1%、TX沿線地区で37.2%と最も高く、次いで桜地区が35.9%
- 「不満評価」は市全体で36.8%、筑波地区で57.3%と最も高く、次いで大穂地区で49.4%



## 7) 住みやすさの満足度

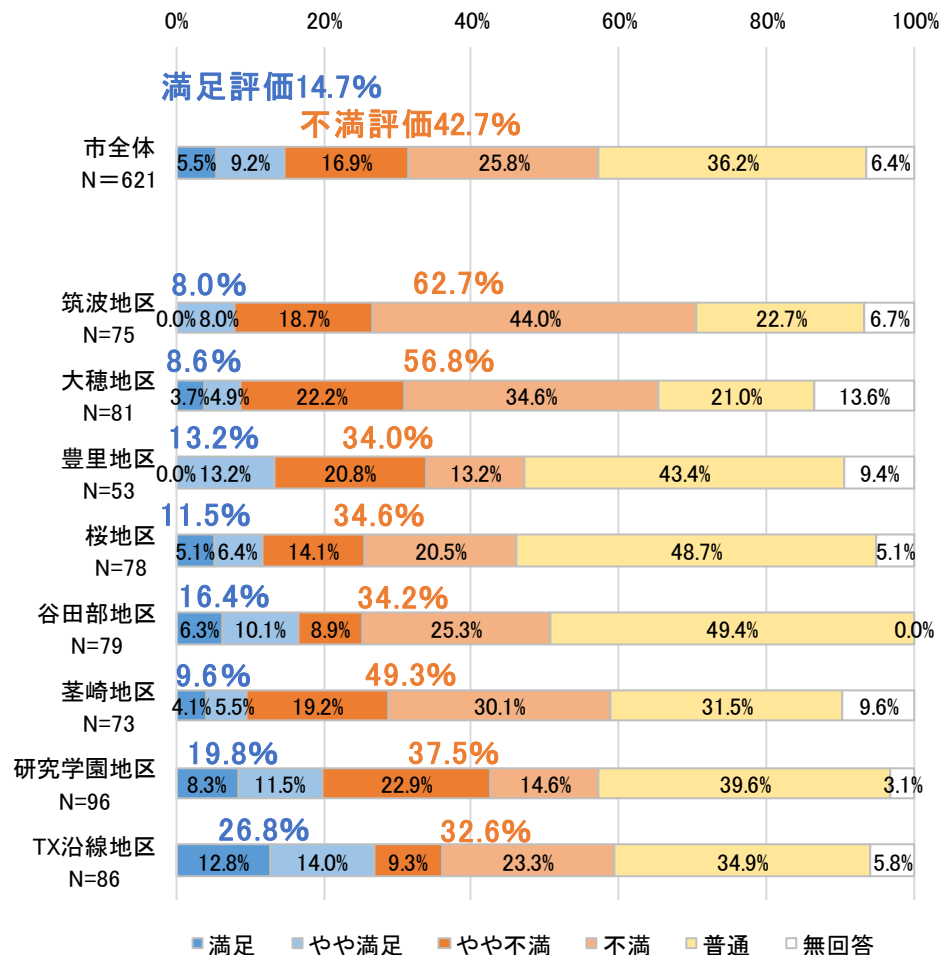
## 金融機関（銀行、郵便局等）の利用

- 「満足評価」は市全体で30.0%、研究学園地区で41.6%と最も高く、次いで大穂地区で33.3%
- 「不満評価」は市全体で26.6%、筑波地区で36.0%と最も高く、次いで荃崎地区で34.2%



## 娯楽施設（映画館、ボーリング場等）の利用

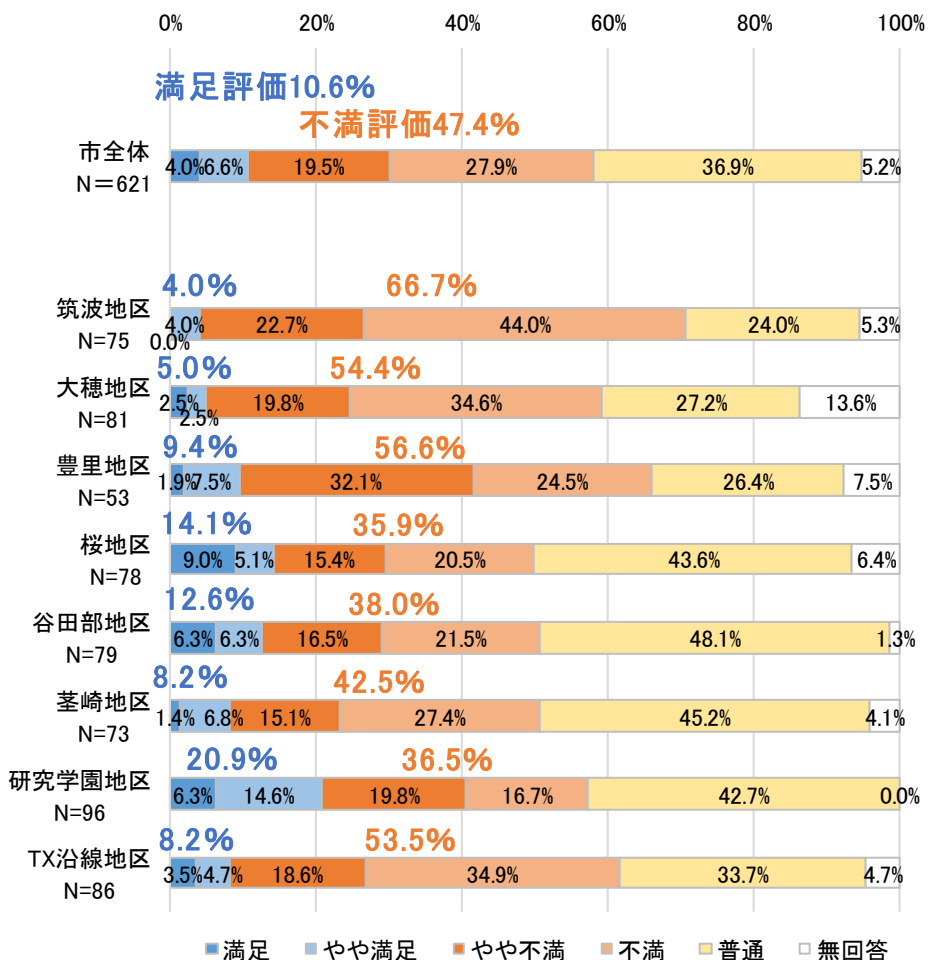
- 「満足評価」は市全体で14.7%、TX沿線地区で26.8%で最も高く、次いで研究学園地区で19.8%
- 「不満評価」は市全体で42.7%、筑波地区で62.7%と最も高く、次いで大穂地区で56.8%



## 7) 住みやすさの満足度

## 文化施設（図書館、ホール、美術館等）の利用

- 「満足評価」は市全体で10.6%、研究学園地区で20.9%と最も高く、次いで桜地区で14.1%
- 「不満評価」は市全体で47.4%、筑波地区で66.7%と最も高く、次いで豊里地区で56.6%



## 8) 定住意向

- 居住地域への居住継続の意向について、6つの選択肢から回答

問 14：現在お住まいの地域に住み続けたいと思っていますか。

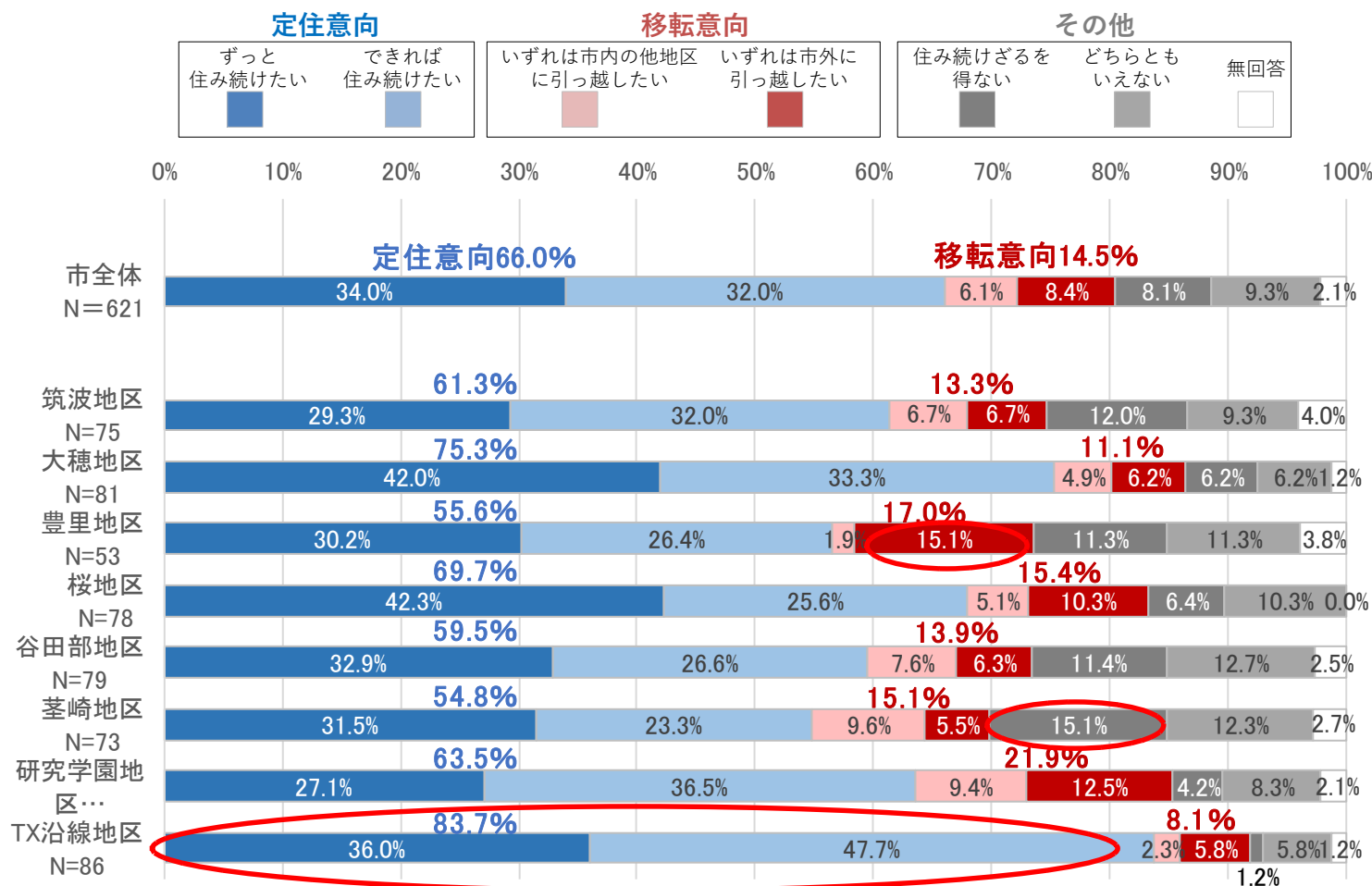
(あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。)

「5. 住み続けざるを得ない」を選んだ方は、理由を( )内にご回答ください。)

- |                         |   |        |
|-------------------------|---|--------|
| 1. ずっと住み続けたい            | } | 問 15 へ |
| 2. できれば住み続けたい           |   |        |
| 3. いずれは市内の他地区に引っ越したい    | } | 問 16 へ |
| 4. いずれは市外に引っ越したい        |   |        |
| 5. 住み続けざるを得ない<br>(理由： ) | } | 問 17 へ |
| 6. どちらともいえない            |   |        |

## 8) 定住意向

- 市全体で「定住意向（「ずっと住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」）は66%
- 「定住意向」は、TX沿線地区で83.7%と最大、次いで、大穂地区で75.3%、桜地区で69.3%
- 「移転意向（「いずれは市内の他地区に引っ越したい」 + 「いずれは市外に引っ越したい」を合わせた）」は、研究学園地区で21.9%、豊里地区で17.0%





## 9) 定住意向の理由

- 定住理由について、1 2の選択肢から、3つまでを回答
- 地区別の定住理由は、市全体との差を示すため、市全体と同じ比率の場合が「0」で、チャートが外に張り出している項目ほど、市全体よりも高い評価

【問 14で「1.」「2.」を選ばれた方】

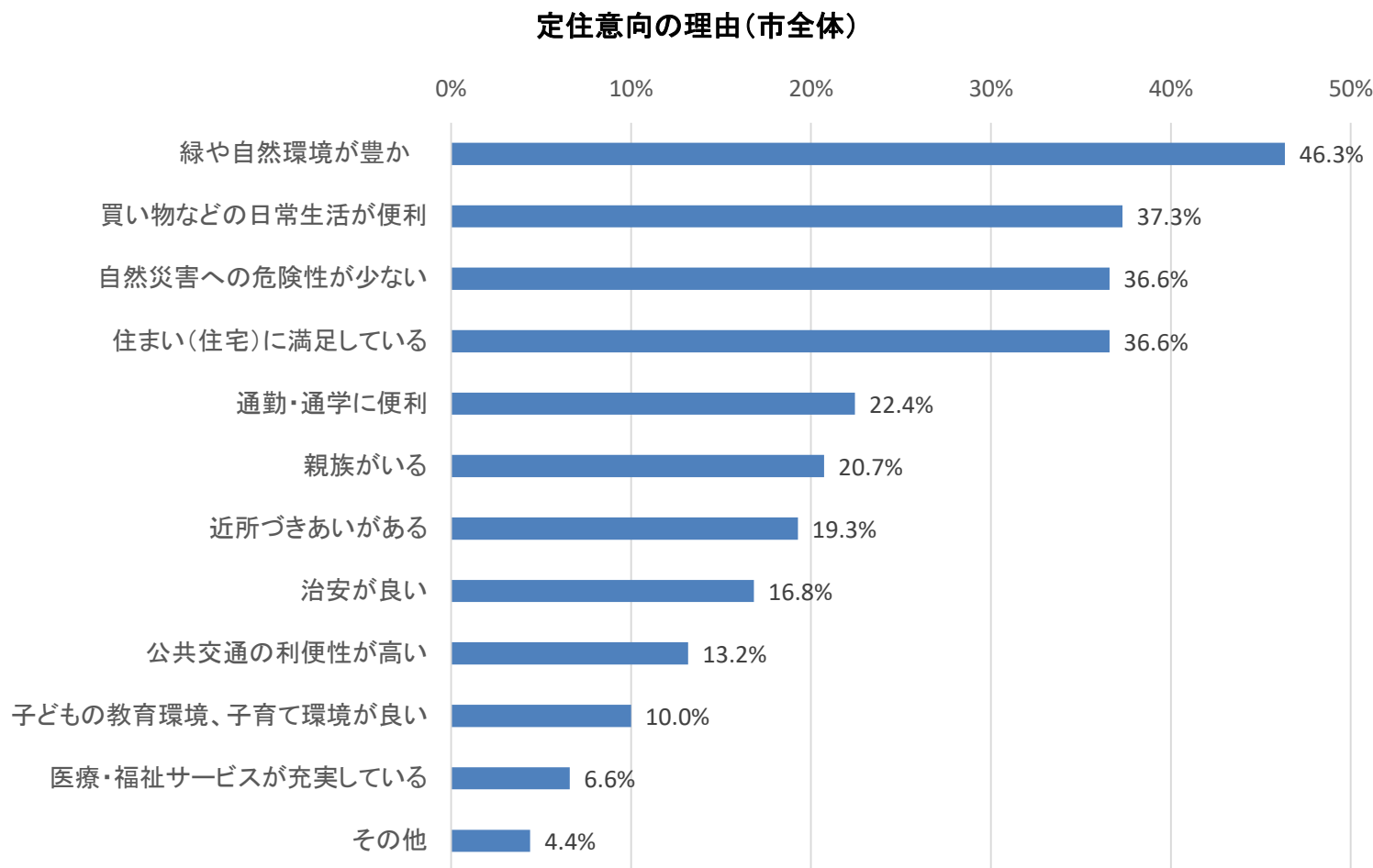
問 15：現在のお住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。

(あてはまるものを3つ選んで、番号に○印をつけてください。)

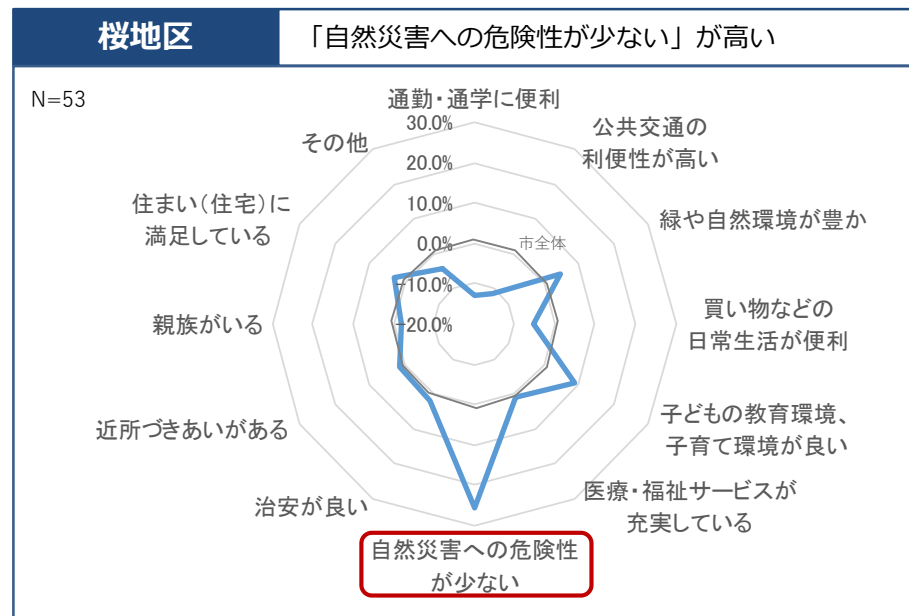
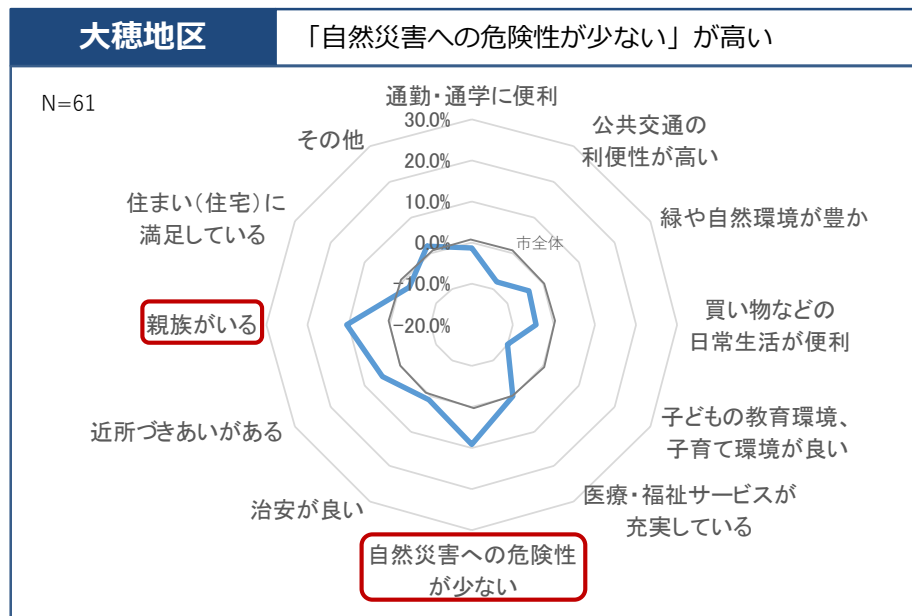
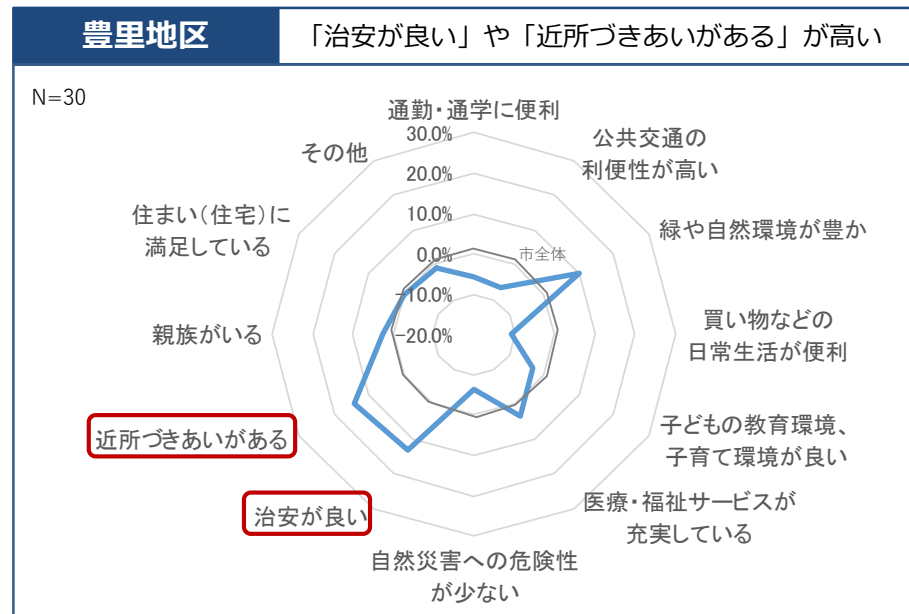
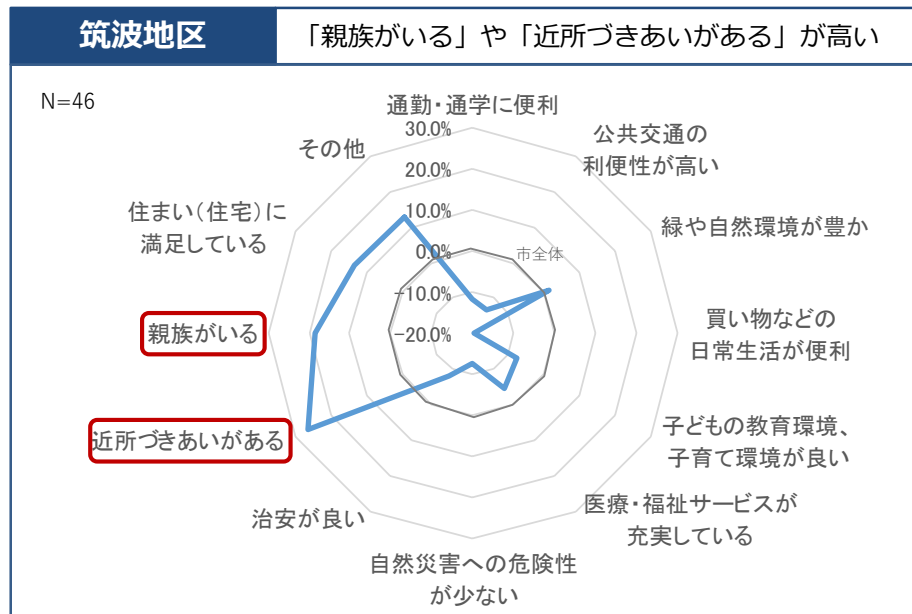
- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 通勤・通学に便利          | 7. 自然災害への危険性が少ない                |
| 2. 公共交通の利便性が高い       | 8. 治安が良い                        |
| 3. 緑や自然環境が豊か         | 9. 近所づきあいがある                    |
| 4. 買い物などの日常生活が便利     | 10. 親族がいる                       |
| 5. 子どもの教育環境、子育て環境が良い | 11. 住まい（住宅）に満足している              |
| 6. 医療・福祉サービスが充実している  | 12. その他（                      ） |

## 9) 定住意向の理由

- 「緑や自然環境が豊か」が46.3%で最も高く、次いで「買い物などの日常生活が便利」が37.3%、「自然災害への危険性が少ない」と「住まい（住宅）に満足している」が36.6%となっている



## 9) 定住意向の理由

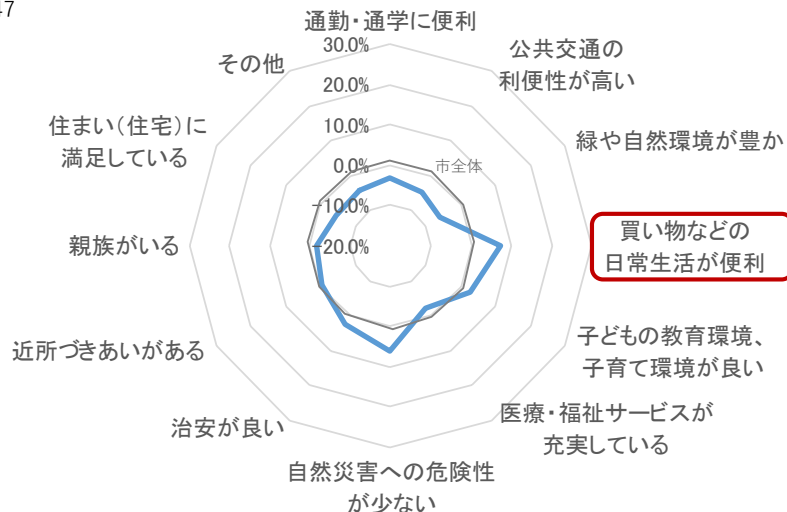


## 9) 定住意向の理由

## 谷田部地区

「買い物などの日常生活が便利」等が高い

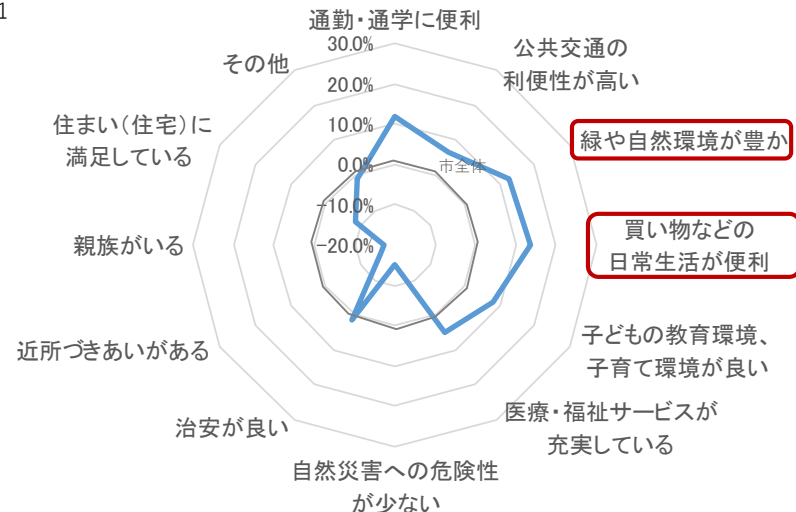
N=47



## 研究学園地区

「買い物などの日常生活が便利」等が高い

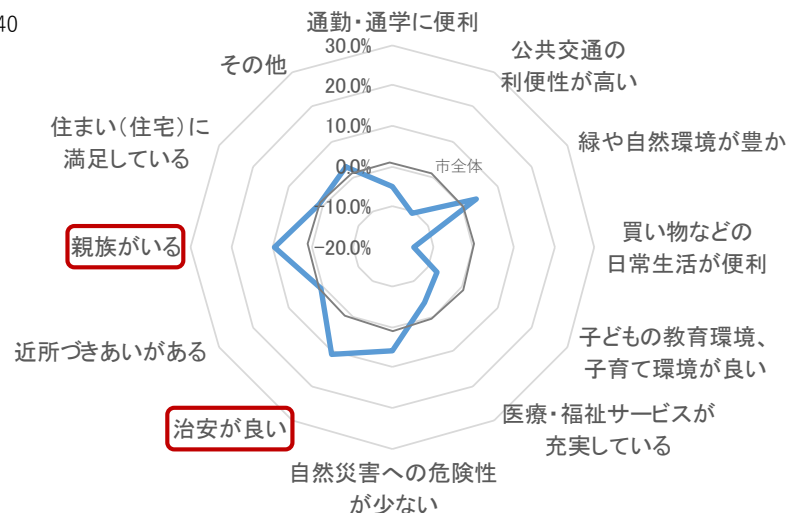
N=61



## 荻崎地区

「治安が良い」や「親族がいる」が高い

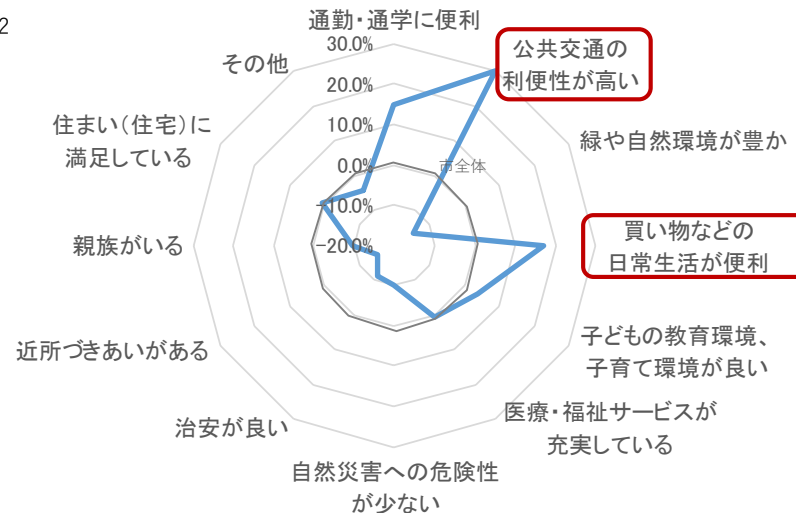
N=40



## TX沿線地区

「公共交通の利便性が高い」が高い

N=72



## 10) 徒歩圏に必要な施設（上位5位）

- 日常生活を支える上で、徒歩圏等に必要と考える施設、今後重要となる施設について、18の選択肢から3つまでを回答

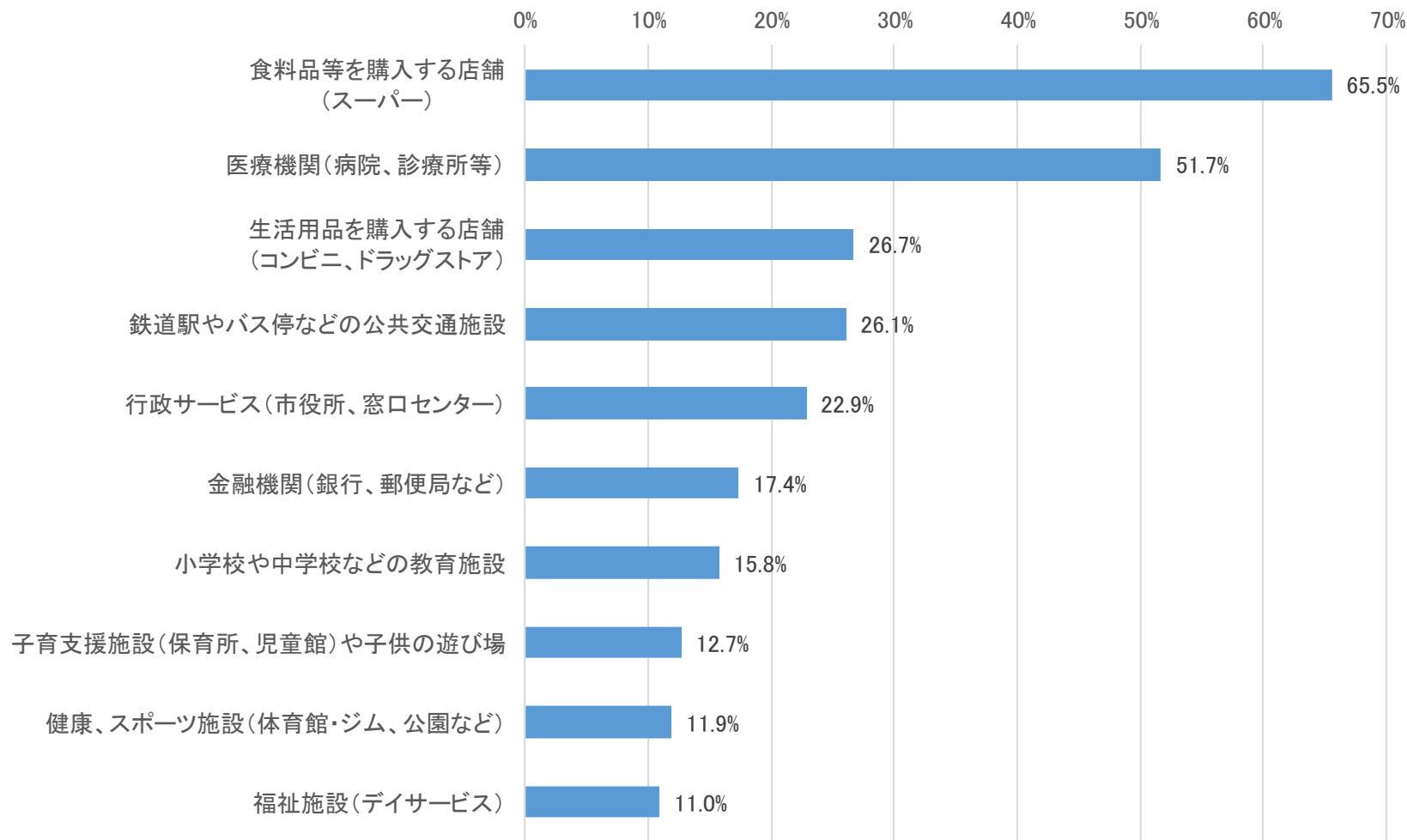
問21：日常生活を支える上で、自宅から徒歩や自転車で行ける範囲に、必要と考える施設、今後重要になると考える施設について、教えてください。  
（下表の選択肢から3つ選んで、番号に○印をつけてください。）

1. 行政サービス（市役所、窓口センター）
2. 福祉施設（デイサービス）
3. 子育て支援施設（保育所、児童館）や子供の遊び場
4. 健康、スポーツ施設（体育館・ジム、公園など）
5. 交流施設（公民館、コミュニティセンター、交流センター）
6. 食料品等を購入する店舗（スーパー）
7. 生活用品を購入する店舗（コンビニ、ドラッグストア）
8. 買回り品を購入する店舗（家電量販店、本屋）
9. 飲食店舗（レストラン、喫茶店カフェ）
10. 医療機関（病院、診療所等）
11. 金融機関（銀行、郵便局など）
12. 娯楽施設（映画館、ボーリング場など）
13. 文化施設（図書館、ホール、美術館等）
14. 鉄道駅やバス停などの公共交通施設
15. 小学校や中学校などの教育施設
16. 子供世帯の独立などのための住宅
17. 市民農園・市民菜園などの施設
18. その他（                    ）

## 10) 徒歩圏に必要な施設（上位10位）

- 「食料品等を購入する店舗（スーパー）」が65.5%、「医療機関（病院、診療所等）」が51.7%と比較的割合が高く、次いで、「生活用品を購入する店舗（コンビニ、ドラッグストア）」が26.7%、「鉄道駅やバス停などの公共交通施設」が26.1%となっている

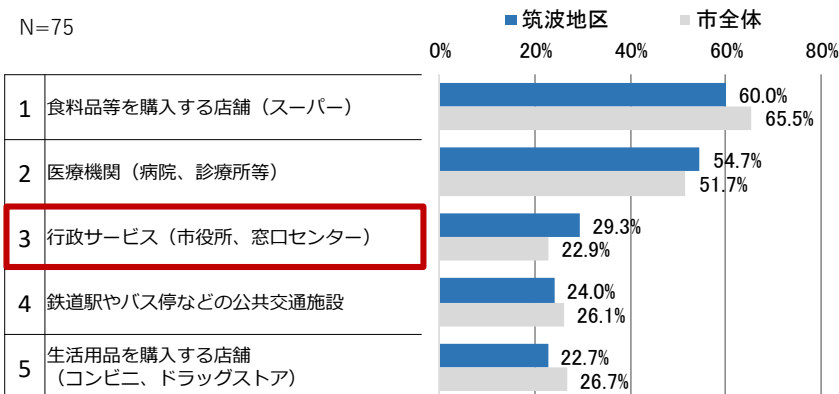
徒歩圏に必要な施設(市全体)



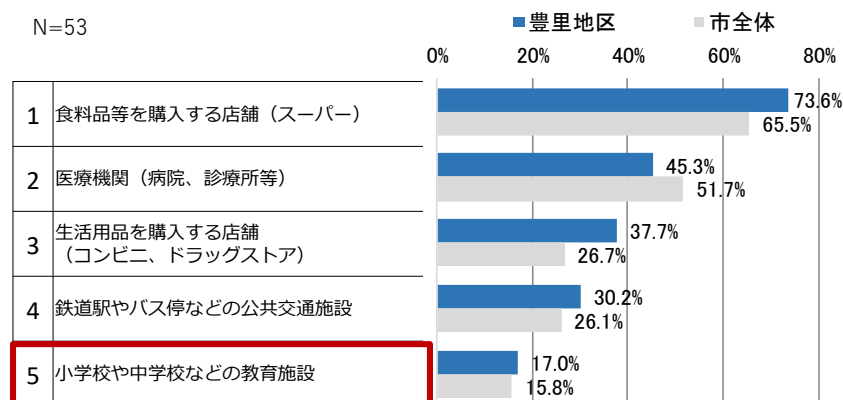
## 10) 徒歩圏に必要な施設（上位5位）

- 全地区で市全体と概ね同じ傾向にあるが、筑波地区では3位に「行政サービス（市役所、窓口センター）」、豊里地区では第5位に「小学校や中学校などの教育施設」、桜地区でも第4位に「小学校や中学校などの教育施設」があがっている

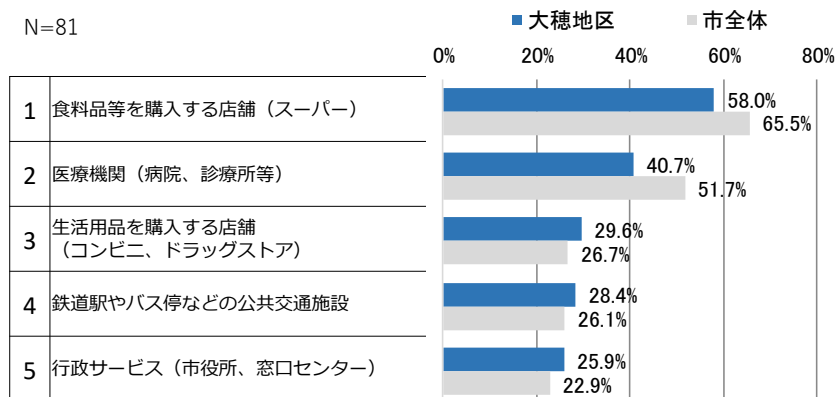
## 筑波地区



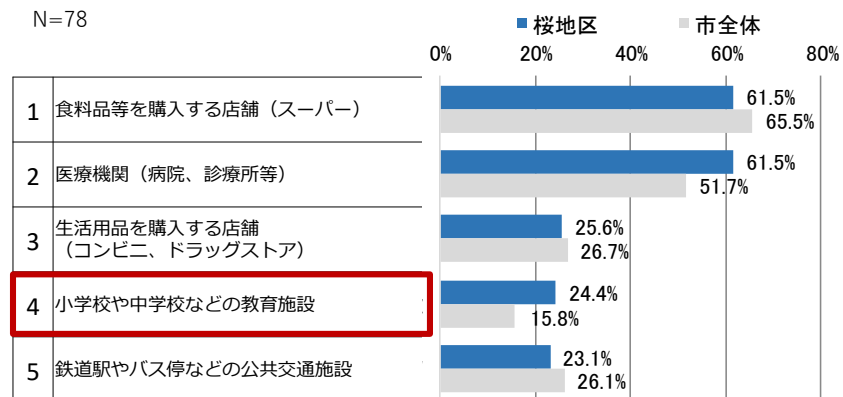
## 豊里地区



## 大穂地区



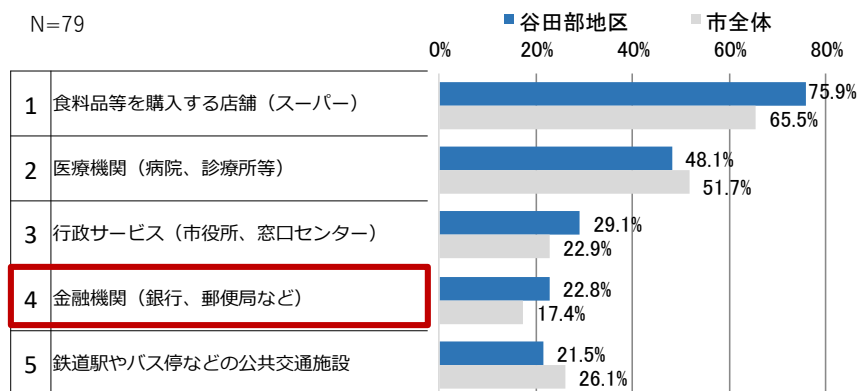
## 桜地区



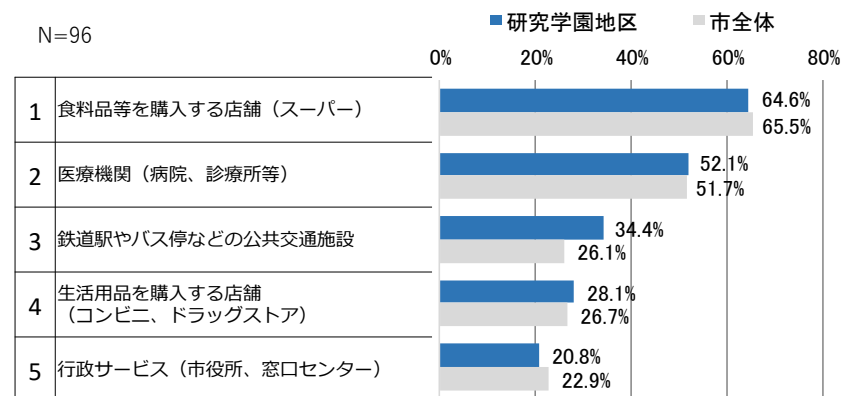
## 10) 徒歩圏に必要な施設（上位5位）

- 谷田部地区では、第4位に「金融機関（銀行、郵便局など）」、荃崎地区では、第1位に「医療機関（病院、診療所等）」、TX沿線地区では、第5位に「小学校や中学校などの教育施設」があがっている

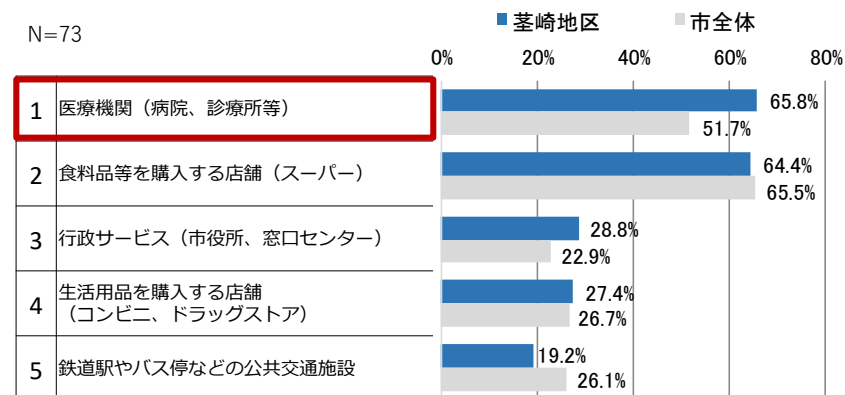
### 谷田部地区



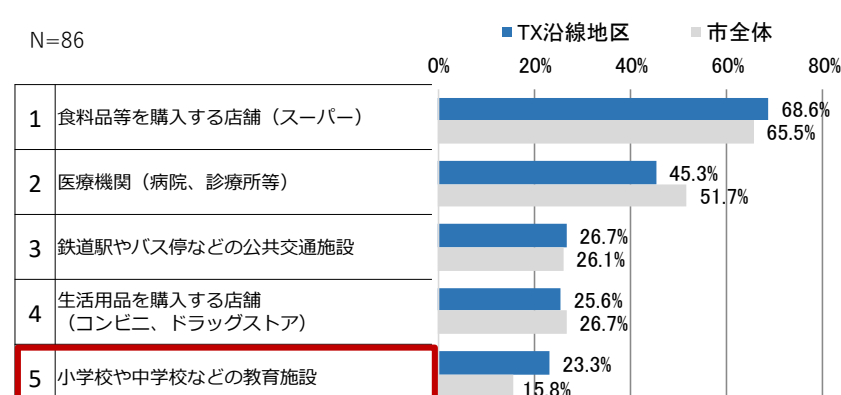
### 研究学園地区



### 荃崎地区



### TX沿線地区





## 11) まとめ

地区名	年齢構成	家族構成	居住暦	住宅の形態	住みやすさの満足度						
					行政サービス	福祉施設	医療機関	交流施設	食料品の買い物	生活用品の買い物	買回り品の買い物
市全体	世代間でバランスが良く構成	①夫婦と子ども：35.7% ②夫婦のみ：20.3%	①30年以上：26.9% ②5年未満：25.3%	①一戸建て：75.8% ②民間賃貸住宅：13.2%	不満：27.7% 満足：27.6%	普通：53.8% 不満：19.1% 満足：7.2%	満足：33.5% 不満：24.2%	不満：27.7% 満足：15.5%	満足：50.0% 不満：21.2%	満足：49.4% 不満：38.5%	不満：35.3% 満足：33.8%
筑波地区	①60歳代が33.3% ②70歳以上が8.0% (計41.3%)	①三世帯世帯が30.7%	①30年以上が49.3%	①一戸建てが92.0%	満足：9.4% 不満：28%	不満：29.3%	不満：29.3%	不満：41.4%	不満：42.7%	不満：50.6%	不満：56.0%
大穂地区	—	—	①30年以上が44.4%	—	—	—	—	—	—	—	—
豊里地区	①50歳代が28.3%	①三世帯世帯が34.0%	—	①一戸建てが92.5%	—	満足：11.3%	—	—	—	不満：52.8%	—
桜地区	—	—	—	—	—	—	満足：38.4%	満足：20.6%	—	—	—
谷田部地区	—	—	—	—	不満：34.2%	—	—	—	—	—	—
荻崎地区	①60歳代が21.9% ②70歳以上が19.2% (計41.1%)	—	①30年以上が30.1% ②20～30年未満：28.8%	①一戸建てが94.5%	不満：31.5%	—	不満：39.7%	—	不満：35.6%	不満：53.4%	不満：48.0%
研究学園地区	—	①夫婦と子どもが50.0%	①5年未満：35.4% ②5～10年未満：21.9%	①一戸建てが39.6% ②民間賃貸住宅：30.2% ③分譲マンション：14.6% ④社宅・宿舍：10.4%	—	—	満足：51.1%	満足：22.9%	満足：66.7%	満足：63.6%	満足：45.9%
TX沿線地区	—	①夫婦と子どもが40.7% ②夫婦のみが27.9%	①5年未満：57.0%	①一戸建てが51.2% ②分譲マンションが24.4%	満足：58.2%	—	満足：39.6%	不満：40.7%	満足：77.9%	満足：75.6%	満足：50.0%

## 11) まとめ

地区名	住みやすさの満足度						定住意向	定住理由	徒歩圏に必要な施設 (地区別は特徴的なもの)
	子育て支援	スポーツ施設	飲食店舗	金融機関	娯楽施設	文化施設			
市全体	不満 : 36.3% 満足 : 11.2%	不満 : 40.0% 満足 : 16.6%	不満 : 36.8% 満足 : 25.1%	満足 : 30.0% 不満 : 26.6%	不満 : 42.7% 満足 : 14.7%	不満 : 47.4% 満足 : 10.6%	定住意向 : 66.0% 移転意向 : 14.5%	①緑や自然環境が豊か (46.3%) ②買い物などの日常生活が便利 (37.3%) ③自然災害への危険性が少ない (36.6%) ④住まい (住宅) に満足している (36.6%)	①食料品等を購入する店舗 (65.5%) ②医療機関 (51.7%) ③生活用品を購入する店舗 (26.7%) ④鉄道駅やバス停などの公共交通施設 (26.1%) ⑤行政サービス (22.9%)
筑波地区	不満 : 64.0%	不満 : 53.3%	不満 : 57.3%	不満 : 36.6%	不満 : 62.7%	不満 : 66.7%	定住意向 : 61.3% ①「ずっと住み続けたい」 29.3% ②「できれば住み続けたい」 32.0%	①近所づきあいがある (市全体+26.4pt) ②親族がいる (市全体+18.4pt)	③行政サービス (29.3%)
大穂地区	—	—	不満 : 49.4%	満足 : 33.3%	不満 : 56.8%	不満 : 54.4%	定住意向 : 75.3% ①「ずっと住み続けたい」 42.0% ②「できれば住み続けたい」 33.3%	①親族がいる (市全体+10.4pt) ②自然災害への危険性が少ない (市全体+9.3pt)	—
豊里地区	—	—	—	—	—	不満 : 56.6%	移転意向 : 17.0% ①「いずれは市外に引っ越したい」 15.1% ②「いずれは市内の他地区に引っ越したい」 1.9%	①近所付き合いがある (市全体+14.1pt) ②治安が良い (市全体+13.2pt)	⑤小学校や中学校などの教育施設 (17.0%)
桜地区	満足 : 16.7%	—	満足 : 35.9%	—	—	満足 : 14.1%	—	①自然災害への危険性が少ない (市全体+25.7pt)	④小学校や中学校などの教育施設 (24.4%)
谷田部地区	—	—	—	—	—	—	—	①買い物などの日常生活が便利 (市全体+7.4pt)	④金融機関 (22.8%)
荳崎地区	不満 : 45.2%	不満 : 48.0%	不満 : 47.9%	不満 : 34.2%	—	—	①「住み続けざるを得ない」 15.1%	①治安が良い (市全体+10.7pt) ②親族がいる (市全体+9.3pt)	①医療機関 (65.8%)
研究学園地区	満足 : 19.8%	満足 : 37.5%	満足 : 32.3%	満足 : 41.6%	満足 : 19.8%	満足 : 20.9%	移転意向 : 22% ①「いずれは市外に引っ越したい」 12.5% ②「いずれは市内の他地区に引っ越したい」 9.4%	①買い物などの日常生活が便利 (市全体+13.5pt) ②緑や自然環境が豊か (市全体+12.7pt)	—
TX沿線地区	—	満足 : 22.1%	満足 : 37.2%	—	満足 : 26.8%	不満 : 53.5%	定住意向 : 83.7% ①「できれば住み続けたい」 47.7% ②「ずっと住み続けたい」 36.0%	①公共交通の利便性が高い (市全体+29.9pt) ②買い物などの日常生活が便利 (市全体+16.8pt)	⑤小学校や中学校などの教育施設 (23.3%)

## 意向と今後の方向性

### 【居住意向と利便性の評価】

- 地区毎に利便性や定住意向が異なる
  - 定住意向が高く、生活利便性の評価が高いTX沿線地区
  - 社宅・官舎居住世帯を中心とした移転意向が一定数見られ、都市機能の充実に評価が高い研究学園地区
  - 生活利便性等の評価が低い筑波地区、荳崎地区
- 全地区で共通する、生活利便施設への高いニーズ

### 【今後の方向性】

- 地区別の生活利便性評価、定住意向、施設ニーズに対応した、都市機能等の適切な誘導
- TX沿線地区では、子育て世代に対応した都市機能の配置・誘導
- 研究学園地区では、高齢化に対応した福祉機能等の誘導